

平成30年度 全国学力・学習状況調査について

1 調査の目的

- 国が、全国的な義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、各地域における児童生徒の学力・学習状況をきめ細かく把握・分析することにより、教育及び教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 各教育委員会、学校等が、全国的な状況との関係において自らの教育及び教育施策の成果と課題を把握し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。
- 各学校が、各児童生徒の学力や学習状況を把握し、児童生徒への教育指導や学習状況の改善等に役立てる。
- 児童生徒一人一人が、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力や生活に目標を持ち、また、それらの向上への意欲を高める。

2 調査実施日

平成30年4月17日（火）

3 調査の対象

甲運小学校 第6学年
実施児童数（50人）

4 調査の内容

(1) 学力に関する調査

ア 教科は、国語、算数、理科。

イ 出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、主として知識・技能に関する内容（A問題）と、それらを活用する力などに関する内容（B問題）とする。

ウ 出題形式については、選択式及び短答式に加え、記述式の問題とする。

(2) 学習状況に関する調査

調査する学年の児童を対象に、学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関するアンケート調査を実施する。

(3) 学校の取組に関する調査

調査対象の児童が在籍する学校を対象に、学校における教育条件の整備状況や指導方法等に関するアンケート調査を実施する。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（国語）

1 全体の傾向

「A 区分問題」

・国語Aでは、山梨県平均・全国平均を下回っている。

「B 区分問題」

・国語Bでは、山梨県平均・全国平均を下回っている。

2 学力状況調査より

国語 A	特徴が見られた設問	
<p>【話すこと・聞くこと】 『相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話す』の正答率が高く、ほぼ全国平均と同等である。</p> <p>【書くこと】 『自分の想像したことを物語に表現するために、文章全体の構成の効果を考える』の正答率が全国平均を下回っている。</p> <p>【読むこと】 『目的に応じて必要な情報を捉える』『登場人物の心情について、情景描写を基に捉える』の正答率が全国平均よりやや低い。</p>	<p>【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 『日常生活で使われている慣用句の意味を理解し、使う』の正答率が高く、ほぼ全国平均と同等である。</p> <p>『文の中における主語と述語の関係などに注目して、文を正しく書く』『相手や場面に応じて適切に敬語を使う』の正答率が全国的に見ても低くなっている。</p> <p>『学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う』では、全国平均に比べて無回答率がやや高くなっている。</p>	

国語 B	特徴が見られた設問	
<p>【話すこと・聞くこと】 『話し合いの参加者として、質問の意図を捉える』『計画的に話し合うために、司会の役割について考える』の正答率が全国平均を下回っている。</p> <p>【書くこと】 『話し手の意図を捉えながら聞き、自分の意見と比べるなどして考えをまとめる』『目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書く』の正答率が全国平均とほぼ同等だが、全国的に見ても正答率が低くなっている。</p>	<p>【読むこと】 『目的に応じて、複数の本や文章などを選んで読む』の正答率が低くなっており、全国平均を下回っている。</p>	

- 漢字の無回答率は、最後の問題だったため時間不足だったことも一つの原因であるが、家庭学習も含めて継続的に取り組ませていく必要がある。読むこと、書くことなどを通して日常的に漢字に触れさせていくことが大切である。
- 主語・述語や敬語については、日常の会話では意識することが少ないので、教科での指導だけでなく、読むことの学習の中で、文の中の主語と述語についての確認を行っていく。繰り返し復習をしていくことも大切である。
- 自分の経験や思ったことを文章に表すだけでなく、目的に合わせて、資料を読み取ったり、自分の考えを文章に表したりする活動を行っていく必要がある。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（算数）

1 全体の傾向

「A 区分問題」

・算数Aでは、山梨県平均・全国平均とほぼ同等である。

「B 区分問題」

・算数Bでは、山梨県平均・全国平均より下回っている。

2 学力状況調査より

算数 A	特徴が見られた設問	
<p>【数と計算】 『十進法取り記数法で表された数の大小について理解している』の正答率が高くなっており、全国平均を上回っている。 『小数の除法の意味について理解している』の正答率が全国的に見ても低くなっている。</p> <p>【量と測定】 『異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している』の正答率が高くなっており、全国平均を上回っている。 『180°の角の大きさを理解している』の正答率が高くなっており、ほぼ全国平均と同等である。 『単位量あたりの大きさを求める除法の式と商の意味を理解している』の正答率が全国的に見ても低くなっている。</p>	<p>【図形】 『円周率の意味について理解している』の正答率が全国的にも低くなっている。</p> <p>【数量関係】 『折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる』の正答率が全国平均よりやや低い。</p>	

算数 B	特徴が見られた設問	
<p>【数と計算】 『ほかの数値の場合を表に整理し、条件に合う時間を判断することができる』の正答率が、全国平均とほぼ同等である。 『数量の関係を考察し、分配法則の式に表現することができる』『数量の関係を、表現方法を適用して考えることができる』の正答率が全国平均を下回り、無回答率がやや高くなっている。</p> <p>【量と測定】 『示された数量を関連付け根拠を明確にして記述できる』の正答率が全国平均を下回っている。</p>	<p>【図形】 『合同な三角形で敷き詰められた模様の中に、条件に合う図形を見いだすことができる』の正答率が高くなっている。 『集まった角の大きさの和が 360° になっていることを記述できる』の無回答率がやや高くなっている。</p> <p>【数量関係】 『メモの情報とグラフを関連づけ、総数や変化に着目していることを解釈し、それを記述できる』『グラフから読み取ることができることを、適切に判断することができる』の正答率が、全国的に見ても低くなっている。</p>	

3 学習状況調査より

質 問 事 項	本校	全国	10%○ 5%◇	差
算数の勉強は好きですか	53.1	64.0	●	-10.9
算数の勉強は大切だと思いますか	89.4	92.1		-2.7
算数の授業の内容はよく分かりますか	74.4	83.4	◆	-9.0
算数の授業で新しい問題に出会ったとき、それを解いてみたいと思いますか	74.5	74.3		+0.2
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	80.8	78.4		+2.4
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	65.9	64.4		+1.5
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思いますか	87.2	90.3		-3.1
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法はないか考えますか	87.2	78.5	◇	+8.7
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	87.3	80.4	◇	+6.9
算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	95.8	85.8	○	+10
今回の算数の問題について、言葉や式を使ってわけや求め方を書く問題がありましたが、どのように解答しましたか (「最後まで解答を書こうと努力した」の割合)	100	97.5		+2.5

- 算数の学習は大切で、将来役に立つと思っている児童が多い。日々の授業の中でも、多くの児童が真剣に学習に取り組む姿が見られている。一生懸命に学習に取り組んでいる中でも、算数があまり好きではなく、内容が難しいと感じている児童も多く見られる。
- 基本的な計算や数量、図形などの学習については、授業や朝学習、家庭学習での繰り返しの計算練習を通して、しっかりと身に付いてきている。さらに定着していくように復習していくことも大切である。
- もっと簡単に解く方法はないか考えたり、公式や決まりのわけを理解するようにしたりと、よく考えながら学習に取り組んでいる児童が多く見られる。
- 解き方や考え方が分かるようにノートに書く児童が多い。低学年段階からの丁寧なノート指導が、高学年での分かりやすいノートの書き方につながってきていると考えられる。
- 問題を読み、自分が考えた計算式がどんな意味を持っているのかを説明することに難しさがある。自分の考えを言葉などで説明する過程を大切にして、学習を進めていくことが必要だと考えられる。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（理科）

1 全体の傾向

- ・理科では、山梨県平均・全国平均を下回っている。
- ・『活用』に関する問題で正答率が低くなっている。

2 学力状況調査より

理科	特徴が見られた設問	
	【自然事象への関心・意欲・態度】 『野生のひなを観察できる方法を構想できる』の正答率が全国平均よりやや低い。	【科学的な思考・表現】 『より妥当な考えをつくりだすために、複数の情報を関連づけながら、分析して考察できる』の正答率が全国的に見ても低くなっている。

理科	特徴が見られた設問	
	【観察・実験の技能】 『ろ過の適切な操作方法を身に付けている』正答率が全国平均をやや下回っている。	【自然事象についての知識・理解】 『骨と骨のつなぎ目について、科学的な言葉や概念を理解している』の正答率が全国平均を上回っている。

3 学習状況調査より

質問事項	本校	全国	10%○ 5%◇	差
理科の勉強は好きですか	91.5	83.5	◇	+8.0
理科の勉強は大切だと思いますか	95.8	85.4	○	+10.4
理科の授業の内容はよく分かりますか	95.7	89.4	◇	+6.3
自然の中で遊んだことや自然観察をしたことがありますか	95.7	87.0	◇	+8.7
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	78.7	64.7	○	+14.0
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	87.3	72.9	○	+14.4
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	29.8	26.1		+3.7
理科の授業で、自分の考えをまわりの人に説明したり発表したりしていますか	68.1	54.5	○	+13.6
理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか	89.3	89.1		+0.2
観察や実験を行うことは好きですか	91.5	89.8		+1.7

理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか	87.3	75.2	○	+12.1
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	87.2	81.8	◇	+5.4
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	91.5	68.1	○	+23.4
今回の理科の問題について、解答を文章などで書く問題がありました。それらの問題について、どのように解答しましたか	97.8	97.6		+0.2
5年生のとき、理科の授業がおもしろいと思いましたか	89.4	87.5		+1.9
5年生のとき、理科の授業を受けた後に、習ったことに関わることで、もっと知りたいことができましたか	80.8	75.1	◇	+5.7

- ほとんどの児童が理科の学習が好きであり、学習内容もよく分かると答えている。実際に観察したり、実験したりすることを大切にして学習を行っていることが、児童の学習意欲に結びついていると考えられる。
- 予想をもとに観察や実験の計画を立て、結果からどのようなことが分かったのか考察し、振り返るというプロセスを大切にした日々の授業が、意欲的に学ぶ児童の姿につながっていると思われる。今後も、児童が自ら考えることを大切にした授業を行っていくことが大切である。
- 実験の条件を変えることで、結果にどんな影響を与えるのかを考える科学的な思考力を育てていくことが大切である。そのために、結果が変わる理由は何なのかを考え、言葉で説明するという活動が、より大切になってくると考えられる。

平成30年度全国学力・学習状況調査の分析（児童質問）

設問内容	本校の状況	設問 ＜本校回答率／全国回答率＞
【自分自身に関わること】	○自己肯定感が高い児童が多い。将来や社会とのかかわりにおいても、前向きにとらえている児童が多い。	(1)自分には、よいところがあると思いますか〈89.4/84.0〉 (2)先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか〈91.5/85.3〉 (3)将来の夢や目標を持っていますか〈95.7/85.1〉 (6)人の役に立つ人間になりたいと思いますか〈97.8/95.2〉
【家庭学習の様子】	○ほとんどの児童が、学校の宿題にしっかりと取り組んでいる。 ○家庭学習に1時間以上取り組んでいる児童が半分以上である。 ○約半分の児童が、家庭でも進んで読書に取り組んでいる。	(11)家で、学校の宿題をしていますか〈97.9/97.1〉 (12)家で、学校の授業の予習復習をしていますか〈68.0/62.6〉 (14)学校での授業以外に。普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。（塾なども含む） 2時間以上〈14.9/29.3〉 1時間以上〈38.3/36.9〉 (15)学校での授業以外に。普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか 30分以上〈42.5/41.3〉
【学校生活の様子】	○ほとんどの児童が、しっかりときまりを守って生活している。 ○友達に自分の考えを发表或し合ったり、話し合ったりする活動に意欲的に取り組んでいる児童が多い。	(4)学校のきまりを守っていますか〈97.9/89.5〉 (55)5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか。〈89.5/90.6〉 (56)5年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立などを工夫して発表していたと思いますか〈91.7/92.8〉 (57)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか 〈93.9/95.0〉

<p>【地域・社会との関わり】</p>	<p>○地域の行事に進んで参加している児童が多い。</p> <p>○地域や社会,身の回りの自然のことなどに興味を持っている児童が多い。</p>	<p>(20)今住んでいる地域の行事に参加していますか 〈78.7/62.7〉</p> <p>(22)地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか 〈63.9/49.9〉</p> <p>(25)新聞を読んでいますか 〈29.8/19.9〉</p> <p>(26)テレビのニュースやインターネットのニュースを見ますか (携帯電話,スマホを含む) 〈85.1/86.2〉</p> <p>(54)今,社会のことがらや自然のことがらに,「不思議だな」「おもしろいな」などと思いませんか 〈87.3/88.4〉</p>
---------------------	---	---

本校の取り組み

◎これまでの取り組み

- ・週3回行っている朝学習については、授業や家庭学習と関連させながら、漢字や計算の学習などを中心に、基礎的な学力の定着を目指して取り組んできた。
- ・児童同士の意見交流を積極的に授業内でを行い、児童同士による学び合いができるような学習指導を行ってきた。
- ・以前は家庭学習の取り組みを学年でそれぞれ行っていたが、本年度から共通の家庭学習カードを使った取り組みを全校体制で進めている。毎日の家庭学習の様子を記録して、児童が学習の積み重ねを感じられるようにしている。
- ・全国学力学習状況調査、山梨県学力把握調査の結果についての学習会を、校内研究会の時間を利用して行ってきた。全国的な課題と本校の課題について考察し、授業研究に取り組んでいる。

◎これからの取り組み

- ・上記の取り組みを今後も継続して行い、更に確かな形にして、児童へ還元していく。
- ・全国学力学習状況調査、山梨県学力把握調査の結果から見えた、本校児童の課題点について改善を図るため、定期的に復習問題に取り組むなどの手だてを行っていきたい。
- ・児童同士の学び合いがより深まり、主体的に学ぶ児童を育てていくために、授業の改善と指導力の向上を目指して、全職員で研究に取り組んでいく。
- ・国語、算数では単元ごとに学習内容の定着を図る問題に取り組ませ、児童の学習状況をより細かく確認していく。
- ・日常の学校の様子を広く保護者や地域の方々に公開する行事や学校開放を今後も定期的実施し、参加していただいた保護者からの意見を生かして、日々の教育活動を行っていきたい。